

仙台市立病院

2016年10月からの半年は減数となり樋口じゅん部長、原田龍平先生の二人体制でしたが、2017年4月より中村貴彬先生に赴任して頂き三人となりました。火曜日の再来に光澤志緒先生、火曜日の病棟に小林潤平先生と引き続き応援頂き、遠藤が木曜日に再来および病棟を補助する形で臨床の継続、および、後期研修医の指導にあたりました。この時期は興味深い症例が多く、国内、国際学会にて学会報告するだけでなく、症例報告も準備中です。

10月からは原田先生、中村先生に代わって池之内初先生、佐藤遼祐先生が赴任されました。二人共よく働いてくれました。脳梗塞急性期が多く tPA 投与しながら血栓回収のために広南病院に搬送する drip and ship もいました。当院で研修した後期研修医は tPA を一人で判断して投与し、血栓回収の適応を判断できるようになります。

2018年4月からは樋口先生、遠藤、小川諒先生、中村尚子先生の4人体制になりました。光澤先生、小林先生の応援は終了となっています。どうもありがとうございました。小川先生、中村先生の二人共、即戦力として頑張ってくれています。早速、血栓回収症例も来院され右完全片麻痺、失語を呈し左中大脳動脈 M1 閉塞でしたが、治療は成功し後遺症なく自宅退院していきました。数年前なら開頭減圧しないと救命できず、右片麻痺、失語が後遺していたでしょう。

私事ですが1年半にわたり広南病院脳血管内科で研修する機会を頂き本当に感謝しております。脳神経血管内治療専門医試験にも合格し血栓回収や頸動脈ステントを当科と脳神経外科で協力しながら施行することができるようになりました。この経験を活かし、今後も当科に赴任される後期研修医には神経救急を学ぶだけでなく、神経内科医の嗜みとして脳卒中診療を学んで欲しいと思います。

(遠藤薫)

外来患者数：4399

退院患者数：479

剖検数：2

論文数：0

学会発表：国際1、国内3

